
2023年3月期 通期

クリモトグループ決算説明資料

The logo for Kurimoto, featuring the word "KURIMOTO" in a bold, blue, sans-serif font. The letter "K" is stylized with a red horizontal bar extending from its left side.

目次

- 1. 会社概要**
- 2. 2023年3月期 実績**
- 3. 2024年3月期 業績予想**
- 4. 注力分野**
- 5. クリモトグループの取り組み**
- 6. 株主還元**

参考資料

1. 会社概要

1 - 1 会社概要



創立：
1909年2月2日（明治42年）

設立：
1934年5月10日（昭和9年）

代表者：
代表取締役社長 菊本 一高

資本金：
311億円（2023年3月末現在）

従業員数：
2,107名（2023年3月末現在、連結）
1,327名（2023年3月末現在、単体）

1 - 1 会社概要

事業所：

○工場・物流拠点（計13か所）

大阪府内4か所

滋賀県、茨城県など

○国内営業拠点（8か所）

大阪、東京、札幌、仙台、

名古屋、広島、福岡、沖縄

○海外拠点（2か所）

ヨーロッパ事務所（ドイツ）、

ジャカルタ事務所（インドネシア）



関係会社：

栗本商事(株)、ヤマトガワ(株)、(株)本山製作所、(株)ケイエステック、
 ジャパンキャステリング(株)、Readco Kurimoto、Kurimoto USA<米国>、
 栗鉄（上海）貿易有限公司<中国>など 計21社

1 - 1 会社概要

経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します。

～社会インフラ・産業インフラへの最適なシステムの提供～

経営方針

よんぼう

「四方よし」の精神で、将来にわたって社会へ貢献できる企業グループを目指す。

1 - 2 事業ドメイン

社会 インフラ

上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設



メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備



産業設備

1 - 3 事業部門の構成と主な製品（単体）

事業セグメント	主な事業ドメイン	事業部	主な製品	主な需要先
ライフラインセグメント		パイプシステム	ダクタイル鉄管類	水道事業体
		バルブシステム	水道用バルブ、産業バルブ	水道事業体、製鉄・電力等各種プラント、ポンプメーカー
機械システムセグメント		機械システム	鍛造プレス	自動車関連メーカー
			粉体処理機	カーボン、エンブラ、二次電池関連メーカー 他
			プラントエンジニアリング	プラントエンジニアリング企業
		素形材エンジニアリング	耐磨耗铸件、破碎機	鉄鋼、セメント、電力、環境、砕石関連企業
産業建設資材セグメント		建材	建築資材	管材商社、空調設備業者、ゼネコン等
		化成品	FRP(M)製品	国・地方公共団体、電力会社、ゼネコン、フィルム関連メーカー

1 - 4 中期3カ年経営計画（当初計画）

（単位：百万円）

	2020年度 （実績）	2021年度 （計画）	2022年度 （計画）	2023年度 （計画）
売上高	116,596	107,000	115,000	120,000
営業利益	4,673	3,500	4,500	5,500
売上高 営業利益率	4.0%	3.3%	3.9%	4.6%
ROE	5.2%	3.6%	4.8%	5.4%

民需分野において、2020年度に大型工事進行基準物件の売上計上が集中した反動ならびに一部新型コロナウイルス感染症による一時的な投資の手控えによる影響があり、2021年度の売上、営業利益は一時的に減少するが、2022年度以降は徐々に回復し、持続的成長に向かうと計画していた。

2. 2023年3月期 実績

2 - 1 決算概要

<連結>

(単位：百万円)

	2022.3 実績 (A)		2023.3 実績 (B)		前年比 (B-A)	2023.3 期初予想値※ (C)		予想比 (B-C)
売上高	105,954	-	124,827	-	18,872	115,000	-	9,827
営業利益(率)	4,172	(3.9%)	6,840	(5.5%)	2,668	4,500	(3.9%)	2,340
経常利益(率)	4,179	(3.9%)	6,868	(5.5%)	2,688	4,500	(3.9%)	2,368
当期純利益(率)	2,917	(2.8%)	4,727	(3.8%)	1,809	3,200	(2.8%)	1,527
ROE	-	(4.5%)	-	(6.9%)	(2.4pt)	-	(4.8%)	-

※期初予想値 (C) : 2022年5月13日公表

売上高

官需分野においては堅調に推移し、民需分野においても新型コロナウイルス感染症による投資の手控えからの回復が進み、全セグメントで増収。前年同期比 18,872百万円の増収。

営業利益

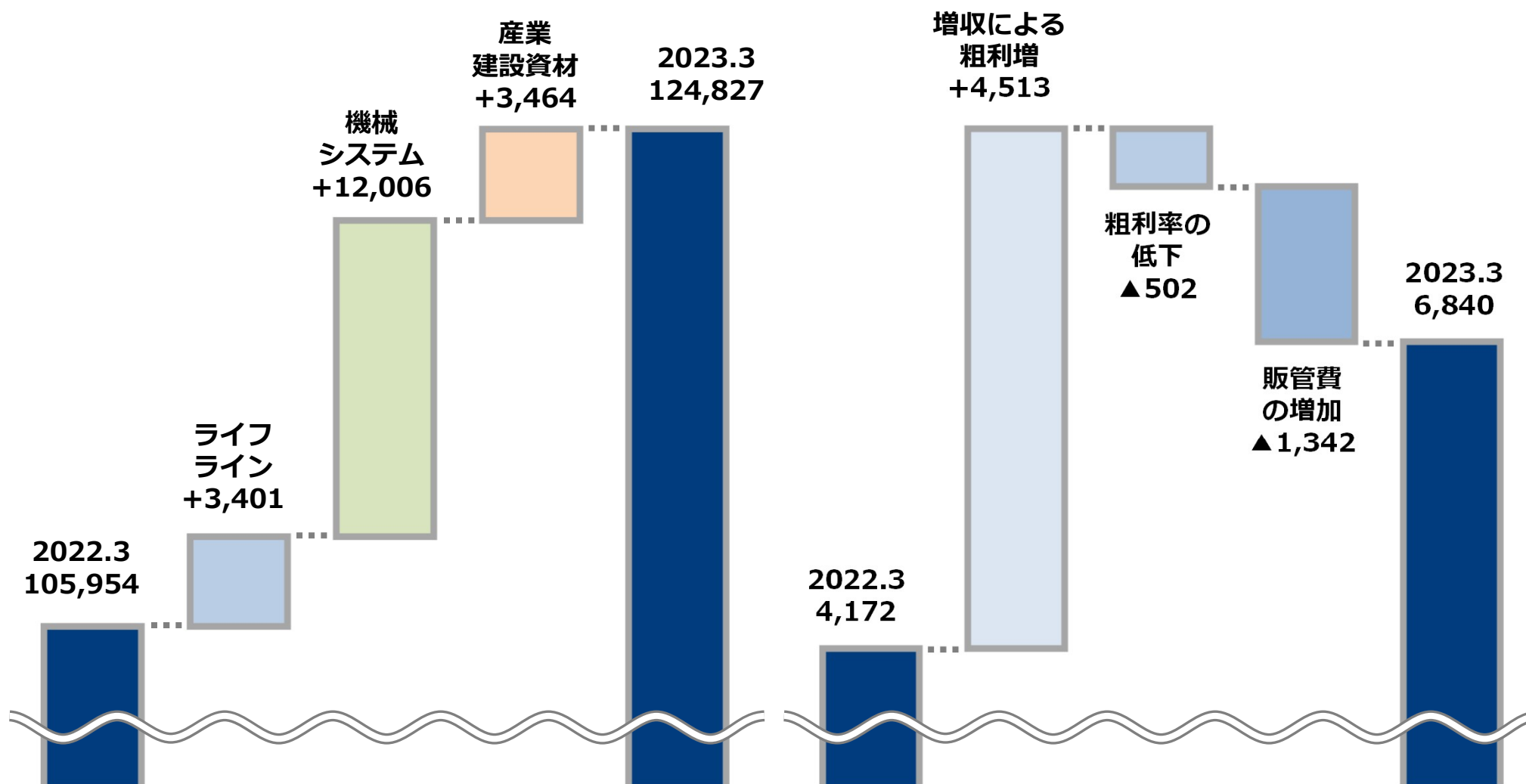
売上高増加にともなう粗利益増加などにより、前年同期比2,668百万円の増益。

2 - 2 売上高・営業損益比較

(単位：百万円)

売上高

営業利益



2-3 セグメント別業績

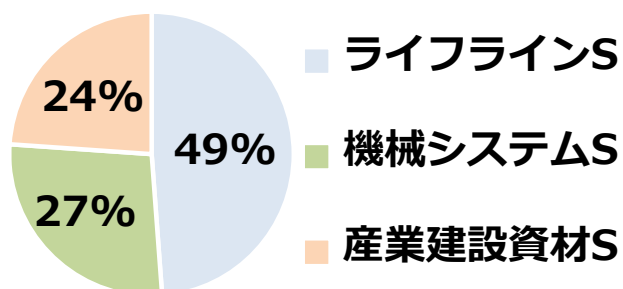
(単位：百万円)

		2022.3 実績 (A)	2023.3 実績 (B)	前年比 (B-A)	2023.3 期初予想値 (C)	予想比 (B-C)
ライフライン セグメント	売上高	57,478	60,879	3,401	55,700	5,179
	営業利益	3,016	3,679	662	2,800	879
	(率)	(5.2%)	(6.0%)	(0.8pts)	(5.0%)	(1.0pts)
機械システム セグメント	売上高	22,095	34,102	12,006	29,500	4,602
	営業利益	437	2,208	1,770	1,000	1,208
	(率)	(2.0%)	(6.5%)	(4.5pts)	(3.4%)	(3.1pts)
産業建設資材 セグメント	売上高	26,381	29,845	3,464	29,800	45
	営業利益	1,040	1,404	364	700	704
	(率)	(3.9%)	(4.7%)	(0.8pts)	(2.3%)	(2.4pts)

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

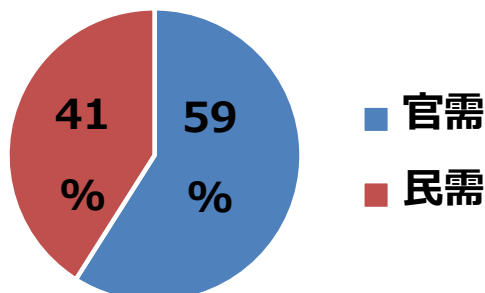
※2023.3期初予想値 (C) : 2022年6月1日公表「2022年3月期決算説明資料」

セグメント別売上高構成比率



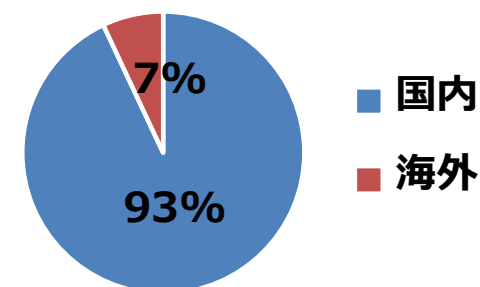
※2023.3実績 (連結)

需要分野 (官・民) 構成比率



※過去3ヶ年平均値 (連結)

国内および海外売上高構成比率



※過去3ヶ年平均値 (単体)

2-4 事業セグメント別概況

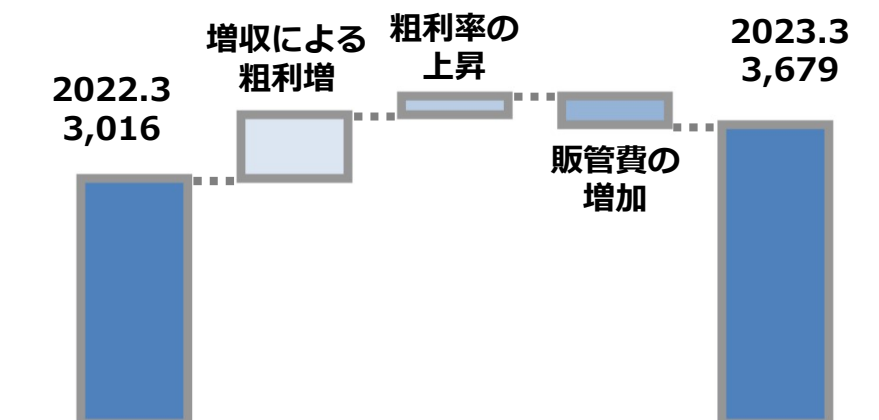
ライフラインセグメント

(単位：百万円)

	2022.3 実績 (A)	2023.3 実績 (B)	前年比 (B-A)	2023.3 期初予想値※ (C)	予想比 (B-C)
売上高	57,478	60,879	3,401	55,700	5,179
営業利益	3,016	3,679	662	2,800	879
(率)	(5.2%)	(6.0%)	(0.8pts)	(5.0%)	(1.0pts)

※2023.3期初予想値 (C) : 2022年6月1日公表「2022年3月期決算説明資料」

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

官需分野の需要は底堅く、パイプシステム部門およびバルブ部門、販売子会社の売上が増加したことにより、前年同期比3,401百万円の増収

営業利益

原材料価格の高騰が影響したものの、増収となったことおよび販売価格の改定による影響もあり、前年同期比662百万円の増益

2-4 事業セグメント別概況

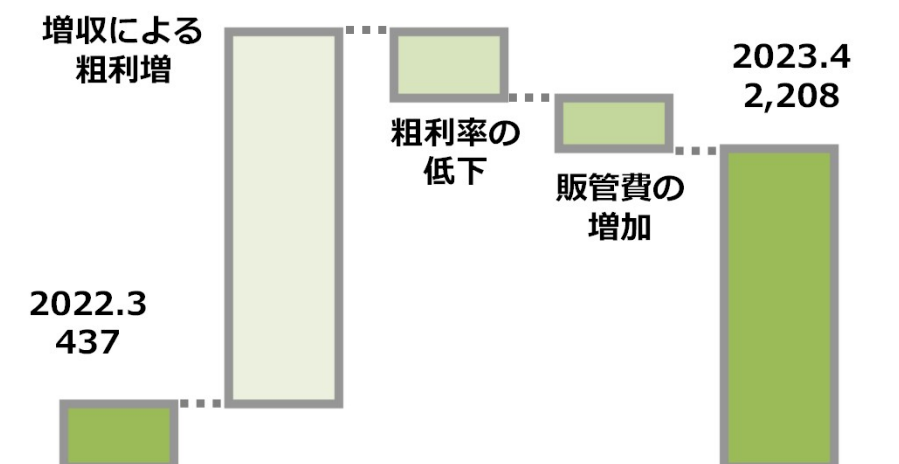
機械システムセグメント

(単位：百万円)

	2022.3 実績 (A)	2023.3 実績 (B)	前年比 (B-A)	2023.3 期初予想値※ (C)	予想比 (B-C)
売上高	22,095	34,102	12,006	29,500	4,602
営業利益	437	2,208	1,770	1,000	1,208
(率)	(2.0%)	(6.5%)	(4.5pts)	(3.4%)	(3.1pts)

※2023.3期初予想値 (C) : 2022年6月1日公表「2022年3月期決算説明資料」

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

機械部門においては粉体機器・プレス機器関連の売上が増加したことなどにより、素形材部門においては破碎機、鋳物部品の出荷が増加したことなどにより、前年同期比12,006百万円の増収

営業利益

機械部門、素形材部門がともに増収となった影響などにより、前年同期比1,770百万円の増益

2-4 事業セグメント別概況

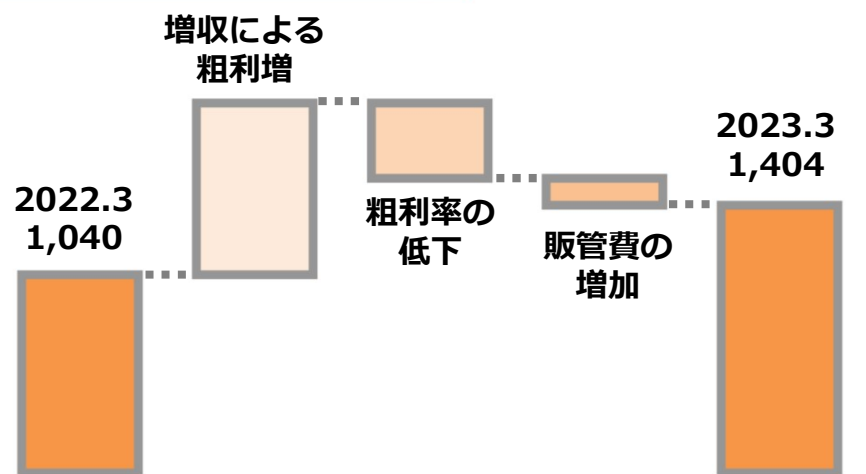
産業建設資材セグメント

(単位：百万円)

	2022.3 実績 (A)	2023.3 実績 (B)	前年比 (B-A)	2023.3 期初予想値※ (C)	予想比 (B-C)
売上高	26,381	29,845	3,464	29,800	45
営業利益	1,040	1,404	364	700	704
(率)	(3.9%)	(4.7%)	(0.8pts)	(2.3%)	(2.4pts)

※2023.3期初予想値 (C) : 2022年6月1日公表「2022年3月期決算説明資料」

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

建材部門においては空調製品、消音製品の出荷が増加したことなどにより、化成品部門においては下水道向け製品やFRP製検査路の出荷が増加したことなどにより、前年度比3,464百万円の増収

営業利益

原材料価格の高騰が影響したものの、建材部門、化成品部門がともに増収となった影響などにより、前年度比364百万円の増益

2-5 財務状態の概況

<連結>

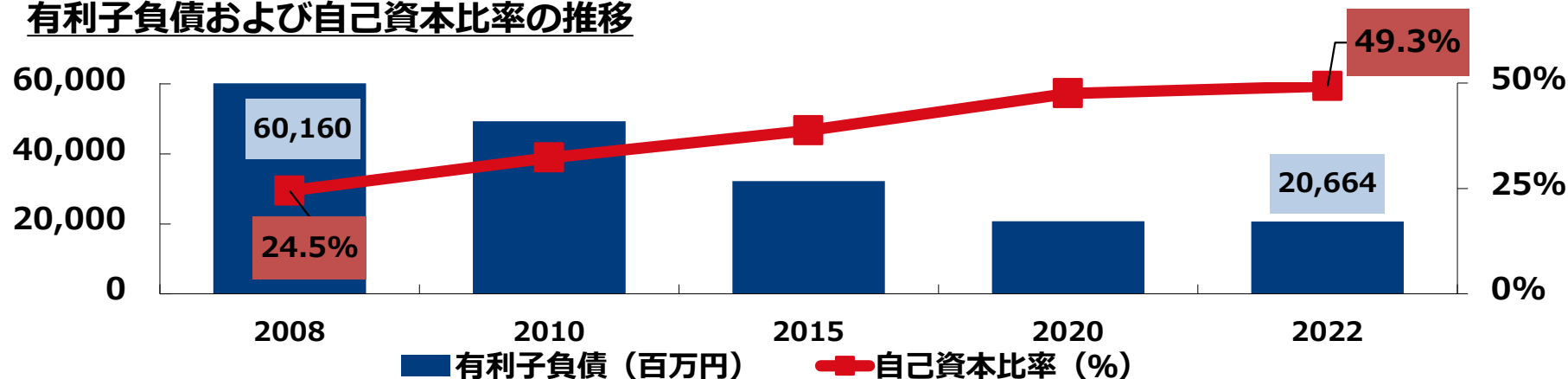
(単位：百万円)

	2022.3末	2023.3末	増減
現金及び預金	21,358	20,334	▲ 1,024
その他流動資産	67,791	73,132	+5,341
流動資産 合計	89,149	93,466	+4,317
固定資産 合計	50,573	51,697	+1,124
資産 合計	139,722	145,164	+5,441
流動負債 合計	61,846	62,311	+465
固定負債 合計	10,256	9,889	▲ 367
負債 合計	72,102	72,200	+97
純資産 合計	67,619	72,963	+5,343
負債純資産 合計	139,722	145,164	+5,441

主な項目の増減

- 流動資産
 - ・ 受取手形、売掛金及び契約資産の増加 + 4,666
- 固定資産
 - ・ 投資有価証券の増加 + 871
- 流動負債
 - ・ 借入金 of 減少 ▲ 2,925
 - ・ 支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加 + 949
 - ・ 未払法人税等の増加 + 1,805
 - ・ 賞与引当金の増加 + 870
- 固定負債
 - ・ リース債務の増加 + 761
 - ・ 長期借入金の減少 ▲ 596
 - ・ 退職給付に係る負債の減少 ▲ 483

有利子負債および自己資本比率の推移



2-6 連結キャッシュフロー

<連結>

(単位：百万円)

項目	2022.3期	2023.3期
税金等調整前当期純利益	4,381	6,879
減価償却費	2,711	2,930
売上債権の増減額 (▲は増加)	88	▲ 6,925
棚卸資産の増減額 (▲は増加)	▲ 4,057	587
仕入債務の増減額 (▲は減少)	1,711	693
その他	▲ 2,021	900
営業活動によるキャッシュフロー	2,813	5,064
有形及び無形固定資産の取得による支出	▲ 2,488	▲ 2,379
その他	33	638
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,455	▲ 1,741
借入金増減額	1,462	▲ 3,522
配当金の支払額	▲ 915	▲ 915
その他	▲ 65	▲ 58
財務活動によるキャッシュフロー	482	▲ 4,495
現金及び現金同等物に係る換算差額	99	147
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	939	▲ 1,024
現金及び現金同等物期末残高	21,299	20,275
有利子負債期末残高	24,186	20,664

3. 2024年3月期 業績予想

3 - 1 2024年3月期 業績予想

(単位：百万円)

連結	2023.3 実績 (A)		2024.3 予想 (B)		前年比 (B-A)	
売上高	124,827	-	120,000	-	▲ 4,827	-
営業利益(率)	6,840	(5.5%)	6,000	(5.0%)	▲ 840	(▲0.5pts)
経常利益(率)	6,868	(5.5%)	6,000	(5.0%)	▲ 868	(▲0.5pts)
当期純利益(率)	4,727	(3.8%)	4,000	(3.3%)	▲ 727	(▲0.5pts)
ROE	-	(6.9%)	-	(5.5%)	-	(▲1.4pts)

売上高・各利益項目ともに好調であった前年度実績と比較し、減収減益の見込み

3 - 2 2024年3月期 業績予想 (セグメント別)

(単位：百万円)

連結		2023.3 実績 (A)	2024.3 予想 (B) ※1	前年比 (B-A)	2024.3 中計当初計画 (C) ※2	計画修正 (B-C)
ライフライン セグメント	売上高	60,879	59,200	▲ 1,679	55,500	3,700
	営業利益	3,679	3,200	▲ 479	2,800	400
	(率)	(6.0%)	(5.4%)	(▲ 0.6pts)	(5.0%)	(0.4pts)
機械システム セグメント	売上高	34,102	31,800	▲ 2,302	29,700	2,100
	営業利益	2,208	1,600	▲ 608	1,100	500
	(率)	(6.5%)	(5.0%)	(▲ 1.5pts)	(3.7%)	(1.3pts)
産業建設資材 セグメント	売上高	29,845	29,000	▲ 845	34,800	▲ 5,800
	営業利益	1,404	1,200	▲ 204	1,600	▲ 400
	(率)	(4.7%)	(4.1%)	(▲ 0.6pts)	(4.6%)	(▲ 0.5pts)

ライフラインセグメント

潜在需要はあるものの、物価上昇による市場の購買力低下により減収減益の見込み

機械システムセグメント

原材料コストなどの高騰による市場回復懸念に加え、地政学的リスクなどの影響や2022年度の売上の大幅増加による反動などにより、減収減益の見込み

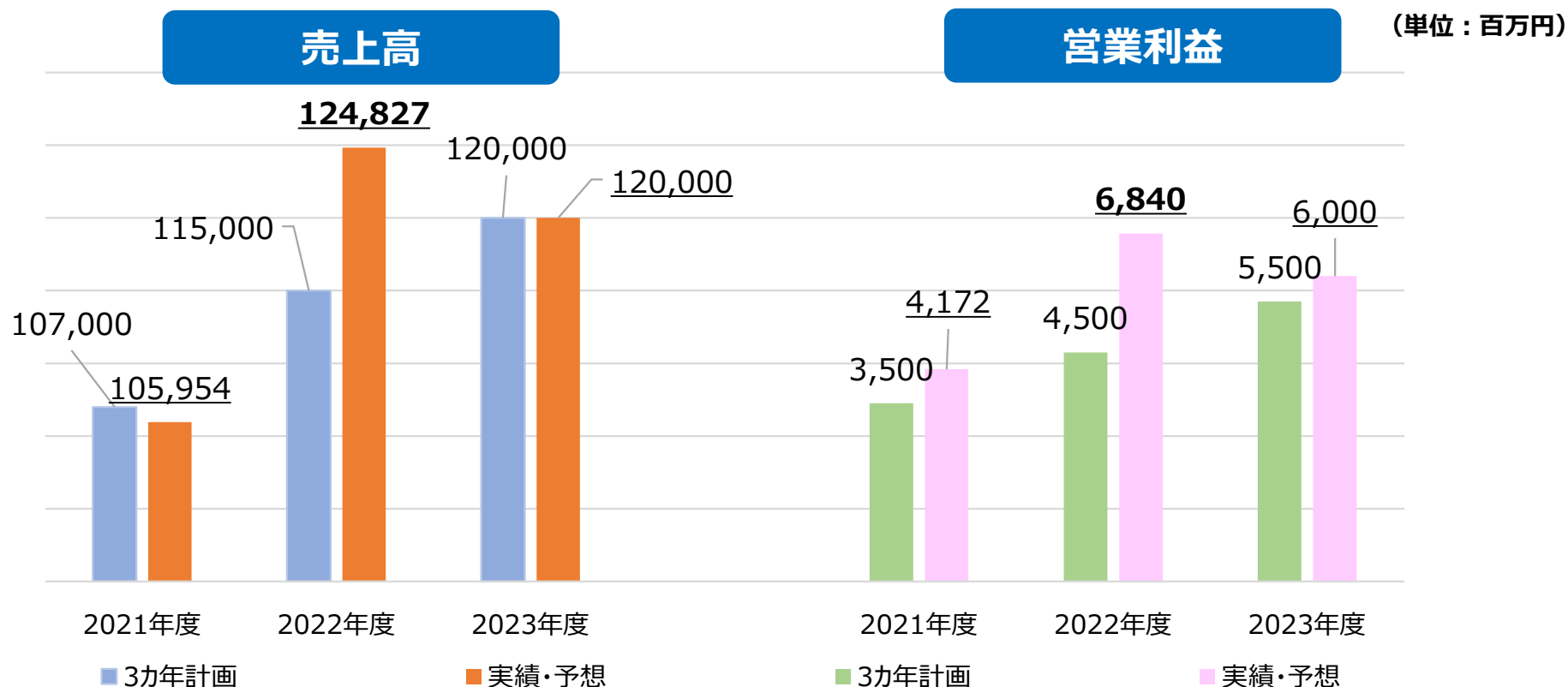
産業建設資材セグメント

地方での建設投資の戻りの遅れや、原材料コストなどの高騰により減収減益の見込み

※1 2023年5月12日現在の予想数値 ※2 2021年5月27日公表「クリモトグループ中期3カ年経営計画2021~2023」

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

3 - 3 中期3カ年経営計画との比較



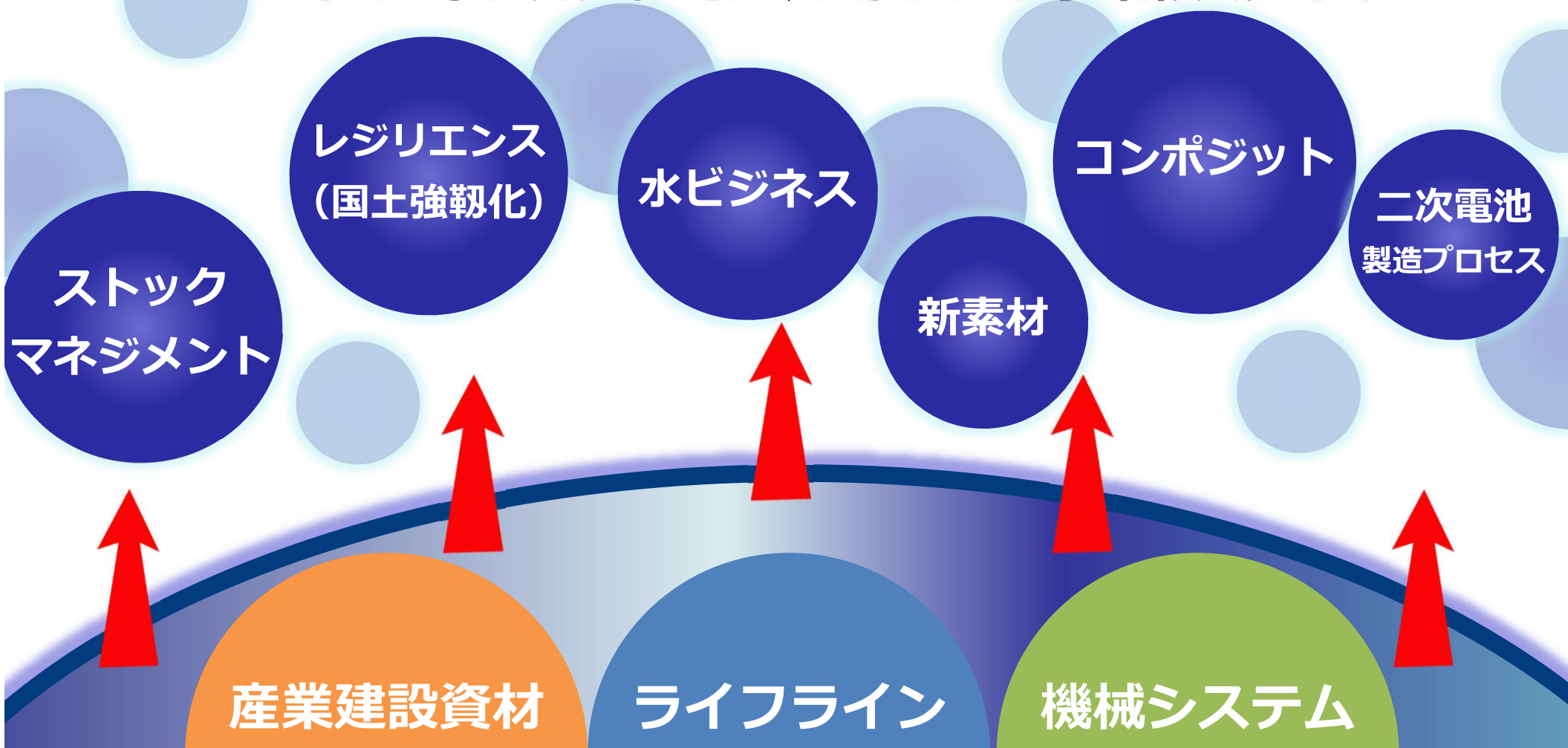
- 2023年度は「前年度実績比」は減収減益と予想するが、中期3カ年経営計画の「当初計画値比」は、売上高は計画通り、営業利益は計画を上回る見込み
- 中期計画は2021年度の売上高実績を除き、すべて目標を達成する見込み
- 中期計画値に対する累計達成率は、売上高が103%、営業利益が126%の見込み

4. 注力分野

4 - 1 注力分野

中期3カ年経営計画

事業基盤を堅持しつつ、新たな事業規模拡大にむけて、
これまでの境界線を越えて6つの事業領域へ注力



4-2 注力分野（社会インフラ）

中期3カ年経営計画

水ビジネス

レジリエンス
(国土強靱化)

事業の方向性①：
国土強靱化・水ビジネスに向けて、
最適なソリューションを提供する

上下水道

技術者不足などを背景とした
設計施工一括発注案件の増加

ライフラインを支える管路に
向けた設計・施工・調査・
メンテナンスなどの
ソリューションの提供

道路・橋梁

道路構造物の老朽化による
維持補修需要の急増

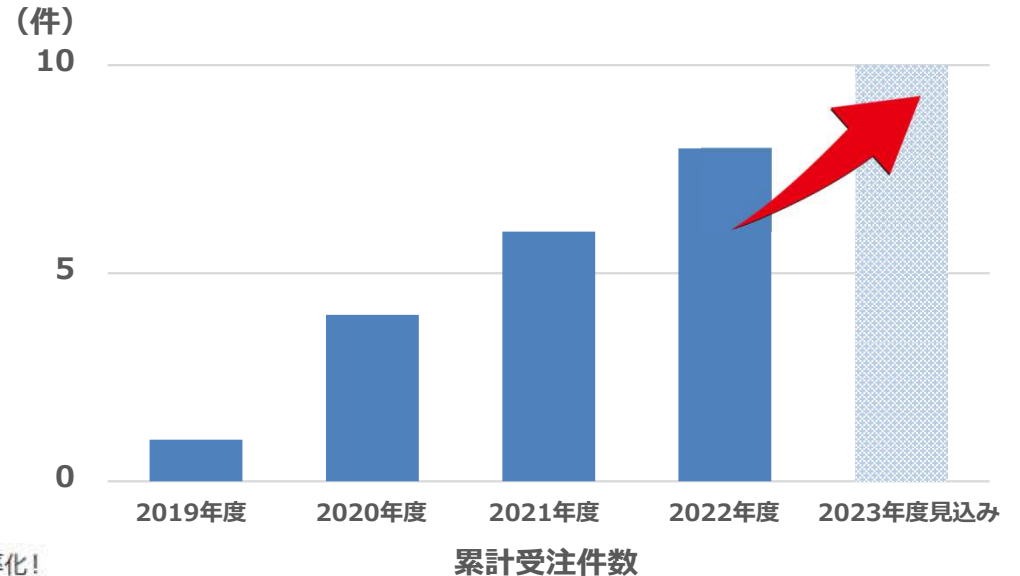
高速道路・橋梁の維持管理・
メンテナンスに貢献する
新技術や施工などの
ソリューションの提供

4-2 注力分野（社会インフラ）

✓ 上水道管路DB（Design Build）方式

水ビジネス

2022年度は受注実績2件、
完成実績2件と着実にノウハウを蓄積



・ 受注実績

① 奈良県 ② 兵庫県 播磨町

・ 完成実績

① 長野県 小諸市 ② 大阪府 泉佐野市

参考：従来方式と管路DBの違い

■ 発注フロー 「設計」と「施工」を一括発注することにより、発注者と受注者の双方の業務を効率化！



※ Design Build (= 設計・施工一括発注方式) ※ 受注案件詳細は参考資料を参照

4-2 注力分野（社会インフラ）

● 道路分野におけるFRP（繊維強化プラスチック）材の採用拡大

FRP検査路

- ・ 高耐久性 – 錆びによる劣化がない
- ・ 施工効率化
 - 主桁・床版一体化構造、軽量化による
工事現場での施工性向上
- ・ 安心・安全 – 滑り止め仕様による安全性向上

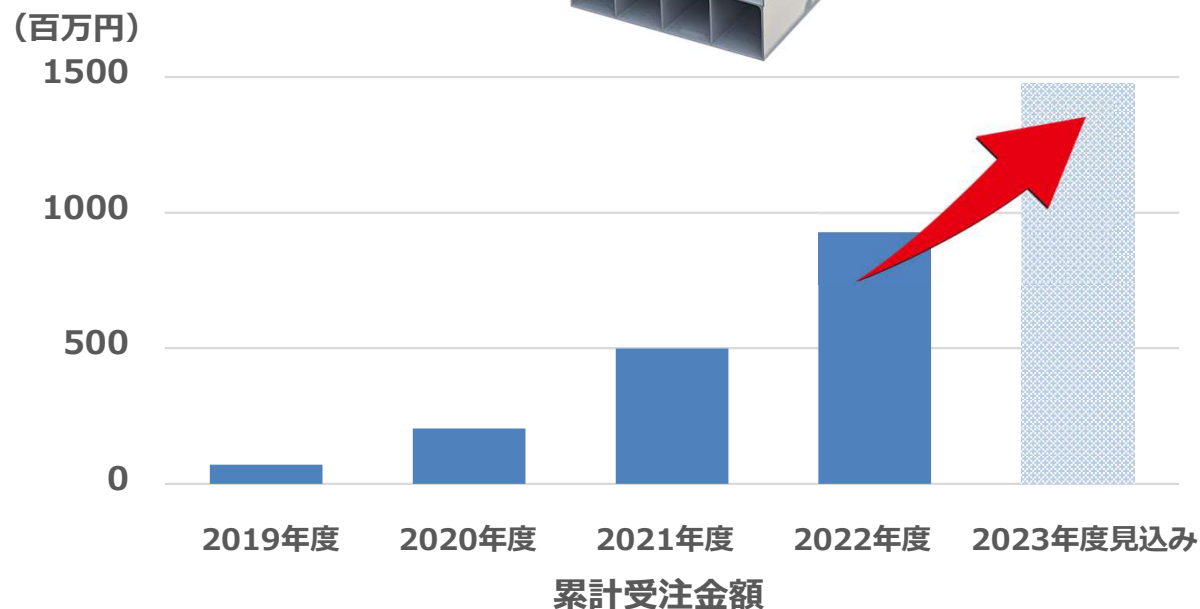
レジリエンス



採用実績



関門自動車道 山中高架橋



4 - 3 注力分野（産業設備）

中期3カ年経営計画

二次電池
製造プロセス

コンポジット

事業の方向性②：
脱炭素社会の実現に向けて、
最適なソリューションを提供する

自動車などの移動体

自動車のEV化に向けた
世界規模での活動加速

二次電池市場における
連続的大量生産製造プロセスに
向けた革新的技術の提供

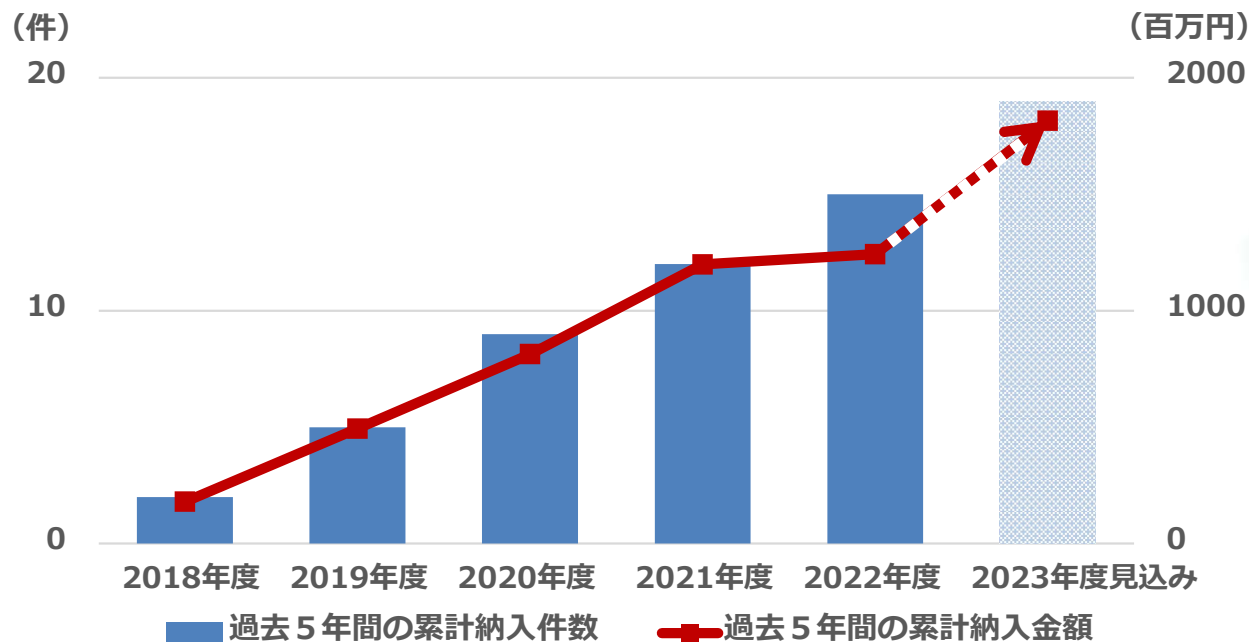
軽量化・低燃費化に
向けた軽量かつ高強度な
素材の需要増加

軽量化に寄与する高機能樹脂およ
びコンポジットの連続生産システ
ム、コンポジット部材の提供

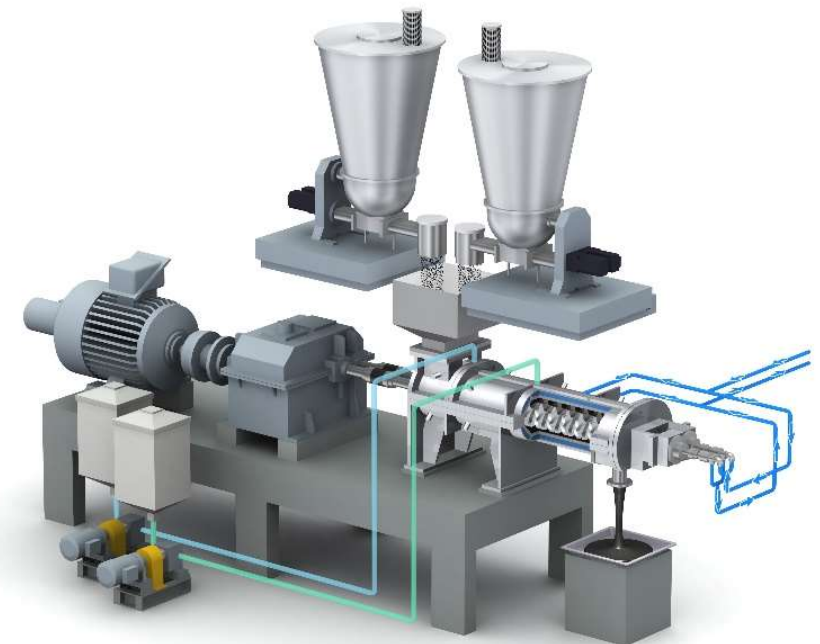
4-3 注力分野（産業設備）

●二次電池関連分野での 連続式二軸混練システム拡販

電極スラリー混練工程への連続混練機適用による混練時間短縮により電池製造工程全体を効率化し、環境負荷低減に貢献




二次電池製造プロセス



カーボンニュートラルに向けたEV化の流れにおいて、導入拡大に向け活動強化

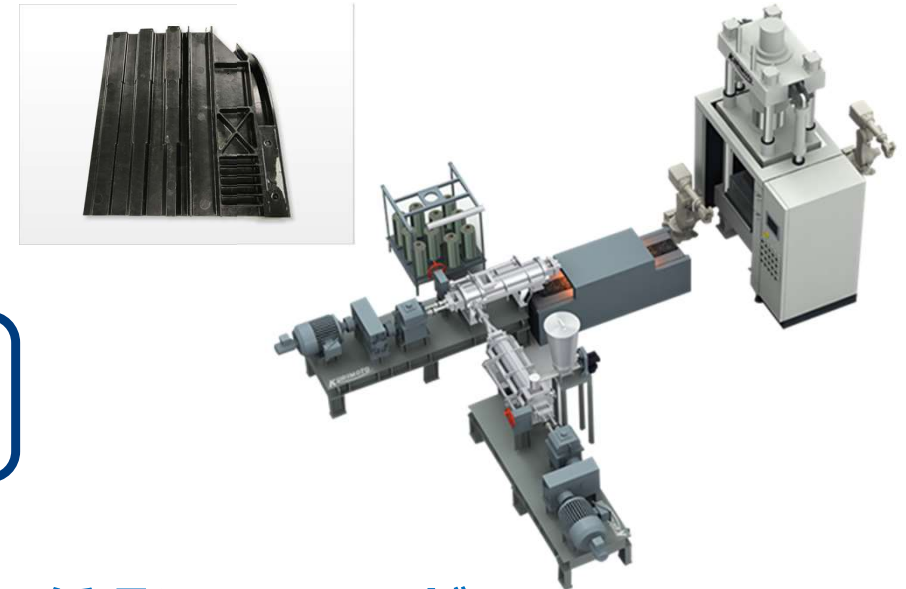
4 - 3 注力分野（産業設備）

●CFRP（炭素繊維強化プラスチック）、 GFRP（ガラス繊維強化プラスチック）

自動車・建築・土木分野における軽量化ニーズ
 高強度な軽量素材の提供

成形品（パーツ）から製造設備（プロセス）まで
 お客様のニーズに合わせて提供が可能

コンポジット



当社がパートナーとして参画する「包括的CFRP循環システム」が「JEC COMPOSITES INNOVATION AWARDS」を受賞

株式会社豊田自動織機様が構築する「包括的CFRP循環システム」において、CFRP製品を成形するパートナーとして参画し、リサイクル材料を使用した引抜成形によりCFRPの製造を実施。

当社が保有するFRP構造材向け引抜成形プロセスを基盤技術として適用し、更にリサイクル材料に適合するプロセス開発を担当。



5. クリモトグループの取り組み

5 - 1 クリモトグループの取り組み (研究開発)

● SoftMRF[®] (ナノ粒子分散磁気粘性流体)

ナノサイズの鉄微粒子が滑らかな感触を実現

活用が期待される業界

ハプティクス (感触)

健康・安全機器

産業機器 (コントローラ)

医療・福祉機器



<採用実績 (ハプティクス分野)>
(株) バンダイナムコアミューズメント
釣りVR「GIJESTA」

「サワレル」プロジェクトを実施

2次元キャラクターに触れ、その感触を体験できる感触コンテンツ「サワレル」(Tapユニットと感触アプリ)を開発

⇒ クラウドファンディングを実施し、開始から約2時間で目標金額を達成



毎日、あのキャラクターと触れ合おう。

サワレル

Tap Unit presented by KURIMOTO

ニャンチも体験中!

Tapユニット!

わめわめ~

ニャンチ © pageratta

くらたま © 2023 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L637096

5-2 クリモトグループの取り組み（環境）

✓ 「サステナビリティ基本方針」の制定

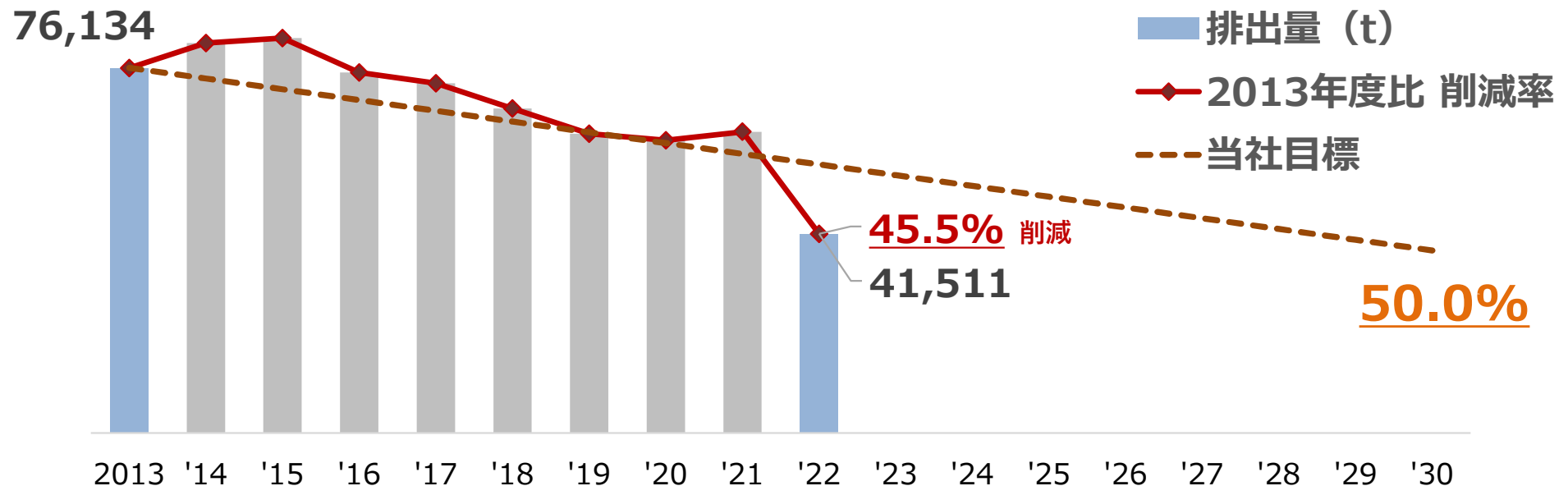
“『継承と革新』で未来を創る！”

継承：創業より培った技術と経験

革新：大きな壁を乗り越えるチャレンジ精神と創造力

✓ CO2排出量削減の推進

2050年カーボンニュートラルに挑戦するため、
CO2排出量削減目標（2030年度）2013年度比50%削減を目指す



※上記数値は全て栗本鐵工所単体でのScope1、Scope 2の合計

5-2 クリモトグループの取り組み（環境）

✓バイオコークスでダクティル鉄管の製造実証を本格化

ダクティル鉄管の製造工程でキュポラ燃料に使用している石炭由来の
コークスを植物由来のバイオコークス（以下 BIC）へ燃料転換する取
り組みを本格化し、当社CO₂排出量の10%以上削減を目指します。

＜主な連携先＞

- 近畿大学（開発者）
- 株式会社ナニワ炉機研究所（BIC製造設備技術を保有）
- 日本砒研株式会社（BIC製造装置を運用）



バイオコークス



ダクティル鉄管



キュポラ溶解設備

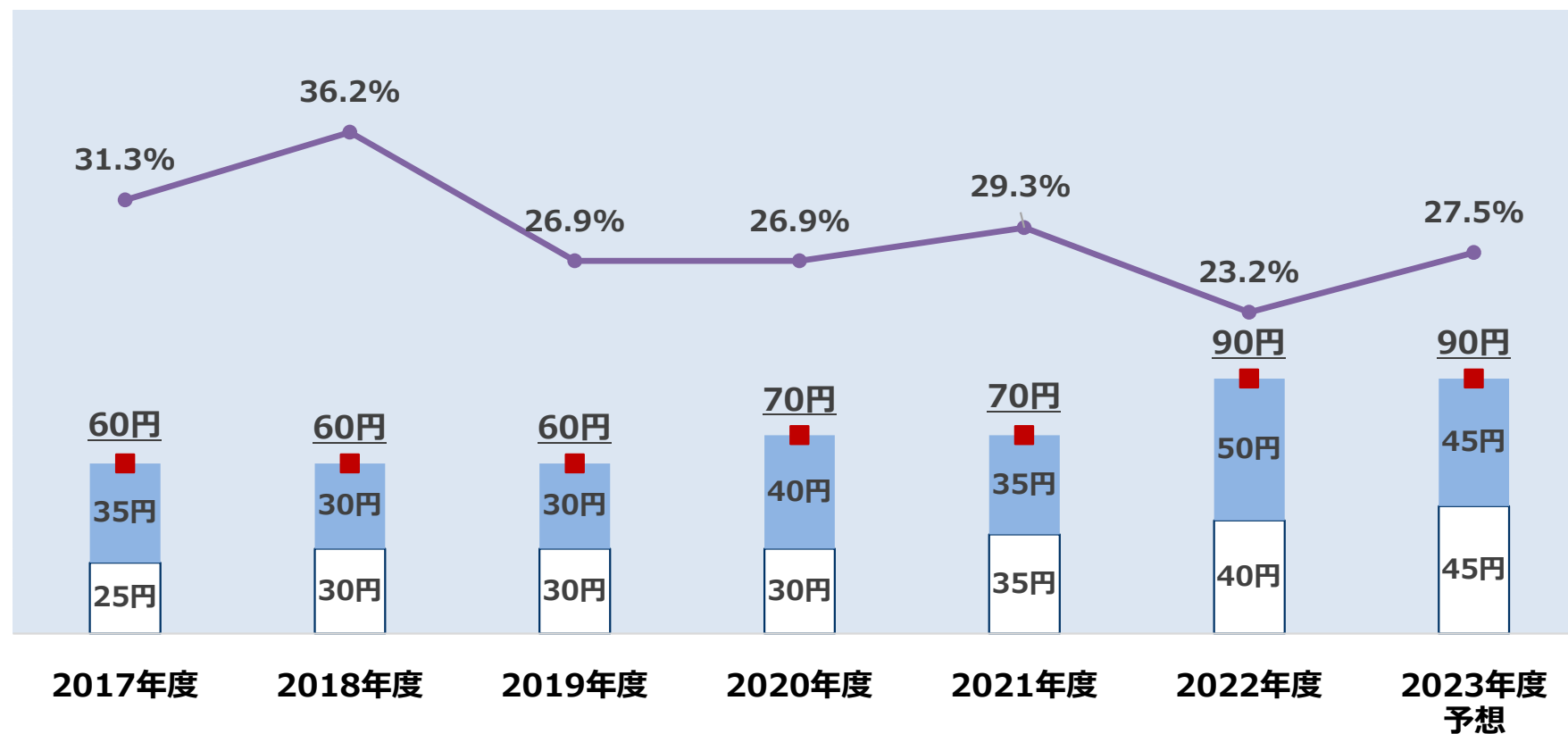
6. 株主還元

6 株主還元に関する指標

成長投資とのバランスを鑑みながらステークホルダーの皆様の期待に応えるべく、配当性向30%超を目指しつつ、安定した株主還元を実施してまいります。

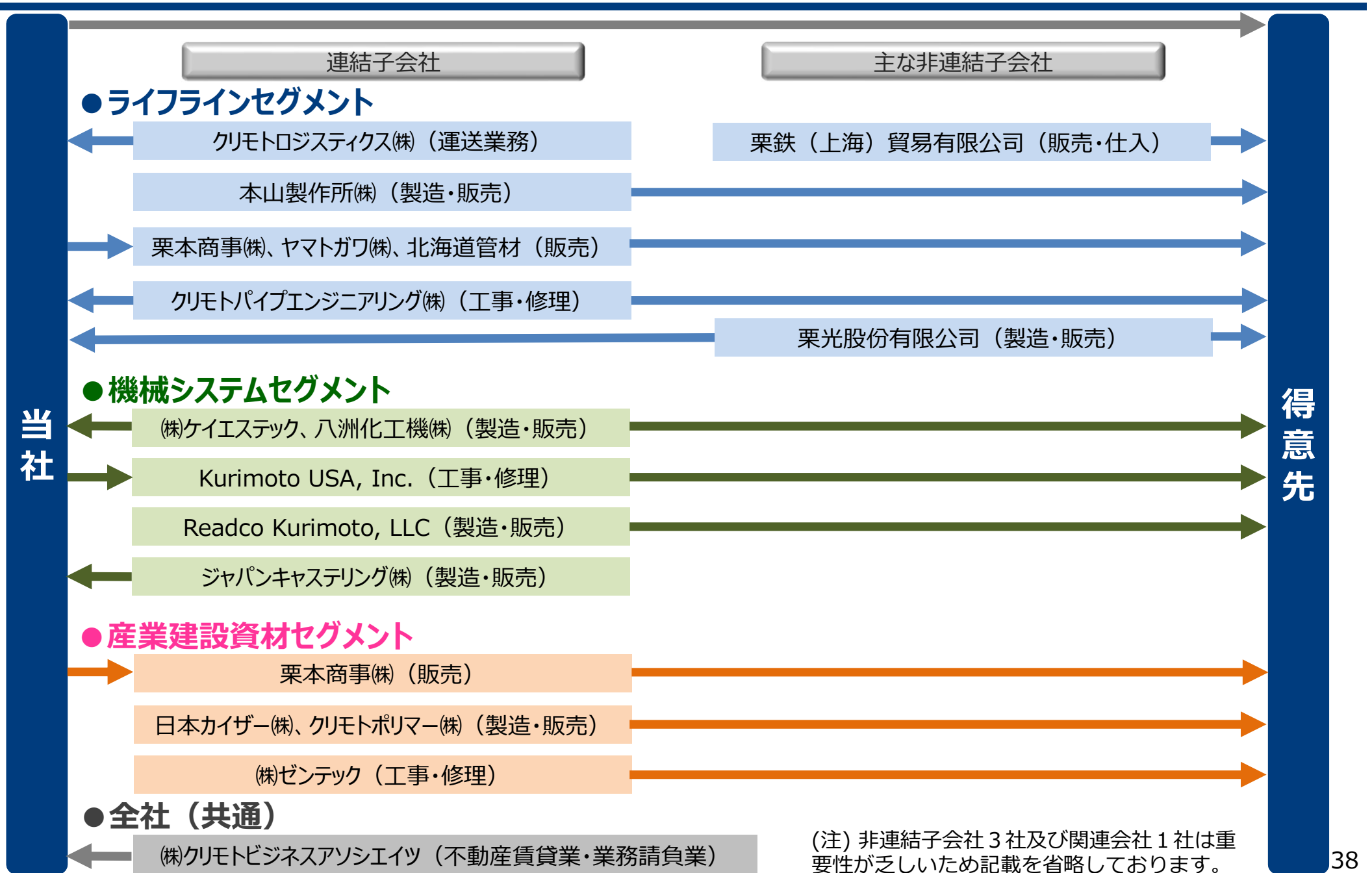
一株あたり配当額・配当性向推移(連結)

■ 期末配当額 (円) □ 中間配当額 (円) ■ 年間配当総額 (円) ● 年間配当性向 (%)



参考資料

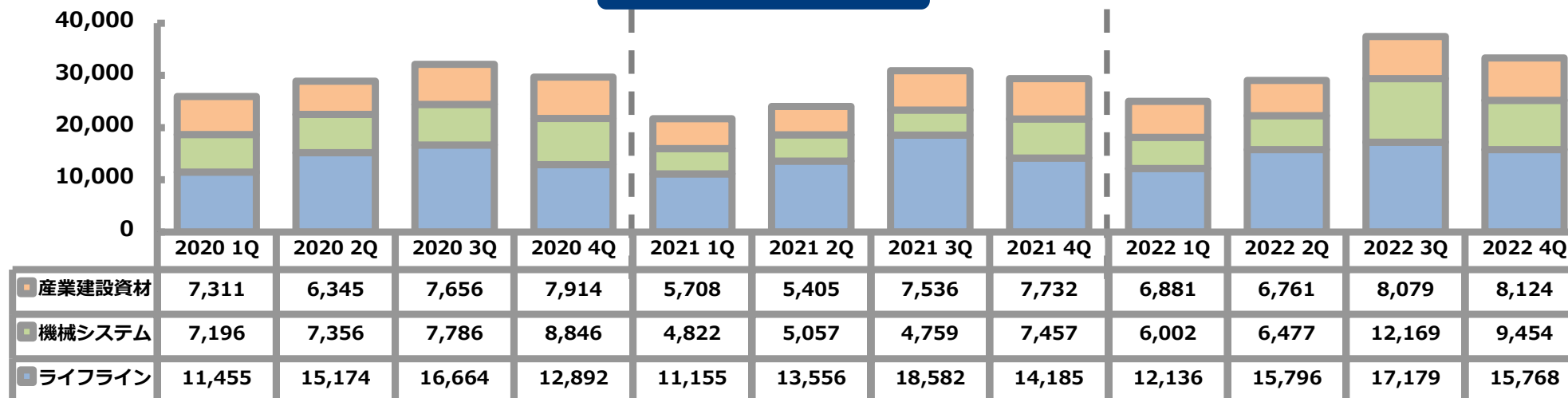
参考資料 1 関係会社



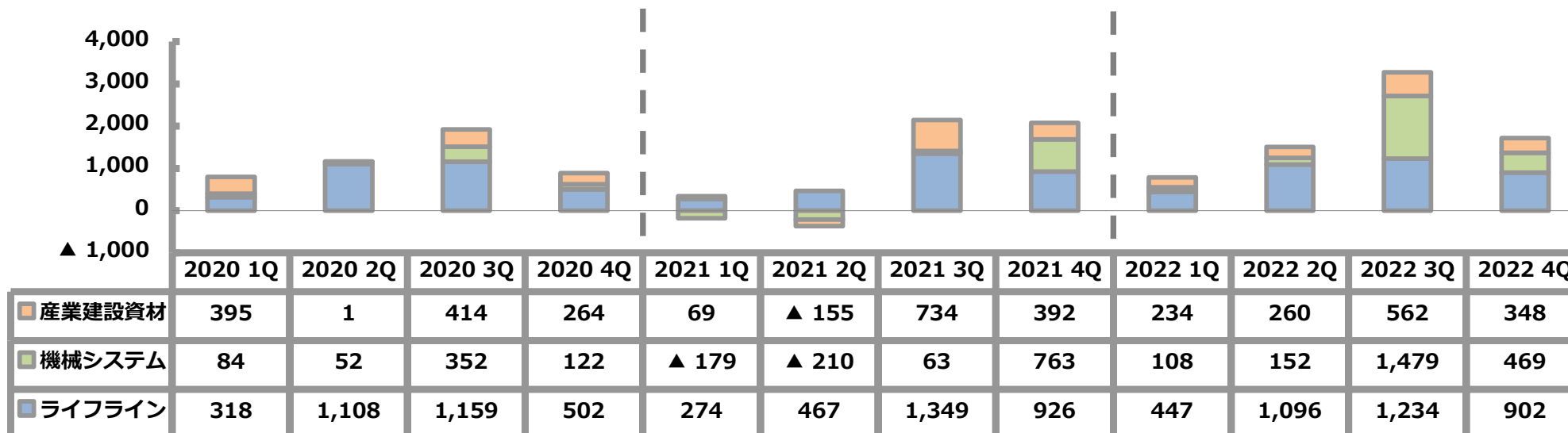
参考資料 2 セグメント別四半期業績推移 (連結)

売上高

(単位：百万円)



営業利益

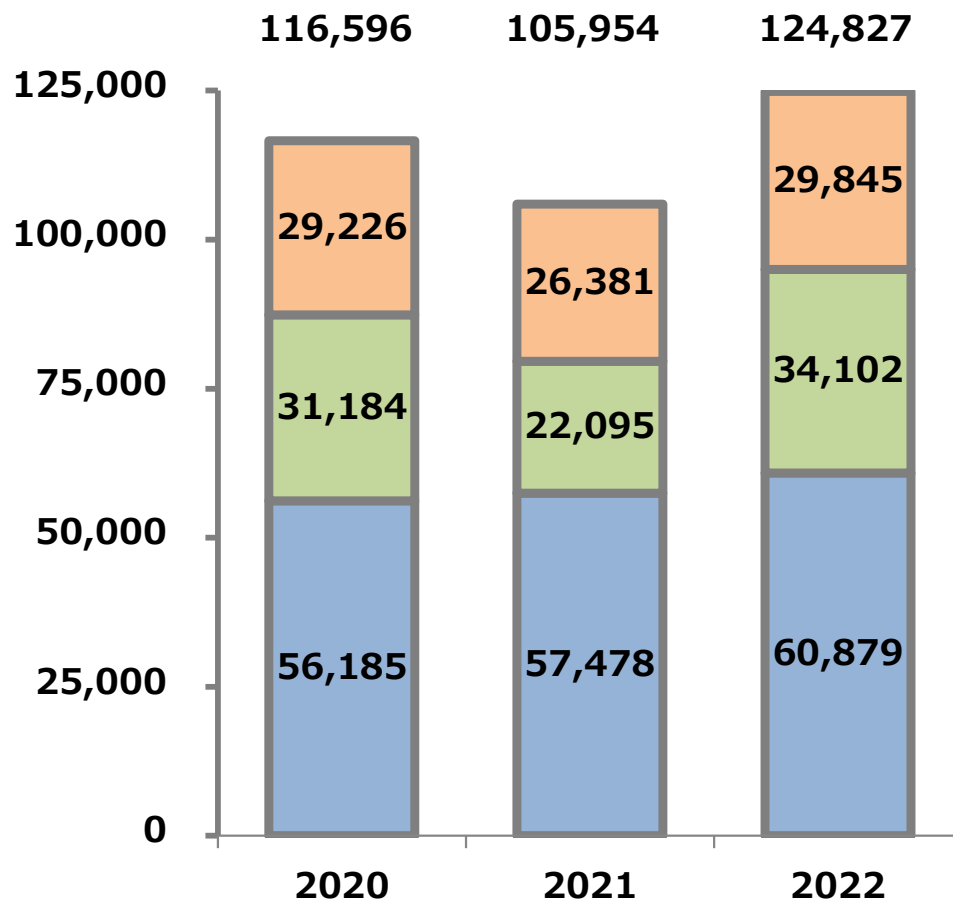


※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

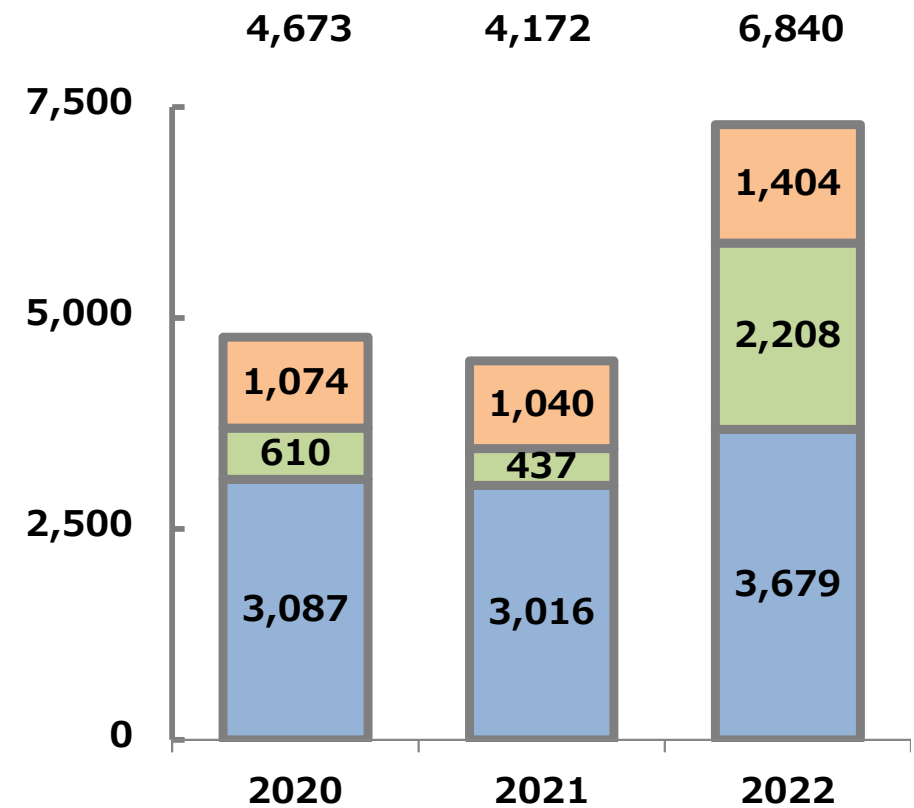
参考資料3 セグメント別業績推移

(単位：百万円)

売上高



営業利益

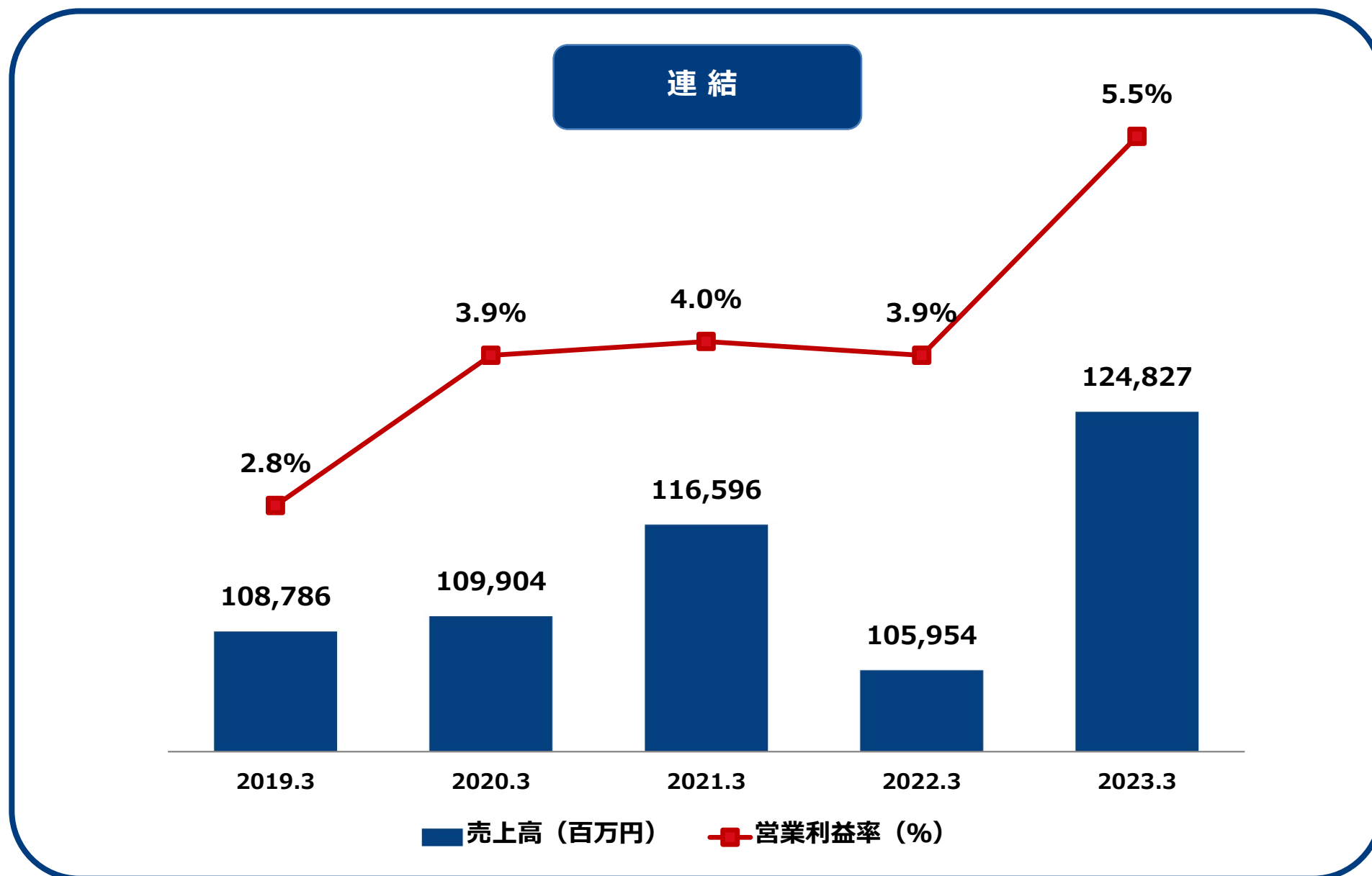


■ ライフライン ■ 機械システム ■ 産業建設資材

■ ライフライン ■ 機械システム ■ 産業建設資材

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

参考資料 4 売上・営業利益率推移（連結）



参考資料 5 水道管路DB方式 受注実績

●水道管路DB（設計・施工一括発注）方式 主な受注実績

No.	ご発注者	受注	竣工	事業名称	契約者	事業規模
1	長野県 小諸市	2019年度	2022年度	送配水管更新業務 (丸山排水池～坂の上配水池)	栗本鐵工所	3.9億円
2	大阪府 泉佐野市	2020年度	2022年度	泉佐野市日根野浄水場他 管路更新業務	栗本鐵工所・泉佐野市水道組合 特定建設工事共同企業体	3.1億円
3	兵庫県 神戸市	2020年度	(予定) 2023年度	中央(東町他)配水本管取替事業	栗本鐵工所・港建設・安藤建設 特定建設工事共同企業体	6.2億円
4	奈良県 広陵町	2020年度	2021年度	広陵町馬見南配水本管布設 耐震設計・施工業務	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	2.5億円
5	奈良県 広陵町	2021年度	(予定) 2024年度	広陵町配水本管布設 耐震設計施工業務	村本・栗本・潮技術コンサル 共同企業体	5.4億円
6	岐阜県中津川市	2021年度	(予定) 2024年度	中津川駅周辺管路更新事業	ケイパ°イ°エンジニアリング ・保母興産・新日本設計グループ	4.4億円
7	奈良県	2022年度	(予定) 2025年度	安堵連絡管第1工区整備事業	栗本・村本・潮技術コンサル 特定共同企業体	—
8	兵庫県 播磨町	2022年度	(予定) 2024年度	東本荘・新島地区基幹管路 布設替工事	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	4.4億円

参考資料 6 新事業開発・研究開発 実績例

クリモトコンポジットセンター (滋賀県東近江市 当社湖東工場内)

延床面積：約2,300㎡

対応製法：Carbon-LFTDシステム

ハイサイクルRTMシステム、引抜成形

主な設備：10MN油圧プレス、4.7MN油圧プレス

三次元測定システム



Carbon-LFTDデモライン

● CFRP (炭素繊維強化プラスチック) 量産技術の開発拠点

国内民間初のデモプラント

成形品 (パーツ) から製造設備 (プロセス) まで顧客のニーズに対応可能

【活用が期待される業界】

自動車・鉄道



エネルギー・電力



建築・土木



工業製品



参考資料 7 新事業開発・研究開発 実績例

「こころの劇場」への協賛を開始

CSR活動の一環として、
2022年度より「こころの劇場」大阪府への協賛を開始。

- ※ 「こころの劇場」とは、劇団四季と（一財）舞台芸術センターが、子ども達の未来のために、全国の小学6年生を無償でミュージカルに招待する取組み。
生きていく上で大切なものはなにかを語りかける活動。
- ※ 2022年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、動画配信版として実施。



資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先
株式会社栗本鐵工所 総合企画室

TEL:06-6538-7719

<http://www.kurimoto.co.jp>

KURIMOTO